

- 農業政策の変遷とその背景
- 今、政策に求められるべきもの
- 輸出への挑戦





戦後の食糧難 国会議事堂前も芋畑

1946（昭和21）年6月18日、終戦直後の食糧難を切り抜けるため、空き地という空き地はほとんど耕され、麦、芋、野菜などが植え付けられた。国会議事堂前も例外ではなく、掘り起こされて一面が芋畑となり職員が手入れに励んだ。

—共同通信社—



開拓当初の 十勝

— 帯広百年記念館
所蔵 —



馬耕の時代

— 帯広百年記念館
所蔵 —



馬耕の時代

— 帯広百年記念館
所蔵 —

十勝の水田作況
。造石四リヨ斗六石一量収り當反。歩町萬六地適田水



十勝の水田

— 帯広百年記念館
所蔵 —



大型合理化工場として昭和36年から操業開始した
ホクレン芽室
澱粉工場



馬耕から トラクターへ

— 帯広百年記念館
所蔵 —



馬耕から トラクターへ

—帯広百年記念館
所蔵—



十勝農業 近代化の 幕開け

— 帯広百年記念館
所蔵 —